

2014 大河ドラマ
軍師
官兵衛

福岡を創った男

黒田
官兵衛

参ろうぞ
福岡へ!!



ふくおか官兵衛くん

<http://fukuokakanbe.jp/>

発行:「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会

お問い合わせ先 [軍師官兵衛]福岡プロジェクト協議会 事務局:福岡県商工部国際経済観光課
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 TEL 092-643-3429(直通)

- 3 官兵衛を巡る福岡県MAP
- 4 福岡を創った官兵衛
- 5 福岡はここから始まった
- 6 官兵衛の足跡
- 7 黒田家と二十四騎
- 8 戦国乱世を駆け抜けた、黒田家の絆
- 9 官兵衛・長政の息遣い
- 10 今でも福岡に残る
- 11 官兵衛ゆかりの地のご当地グルメ
- 12 ちよつと、ひととき福岡の人気グルメ
- 13 黒田官兵衛ゆかりの地
- 14 モデルコース

官兵衛の「キセキ」

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康。

三人の天下人に愛され、恐れられた男、官兵衛。

その類まれな知略と先見性で戦国の世を駆け抜けた

知将・黒田官兵衛孝高(如水)は、

戦乱の世にあって「戦わずして勝つ」を実行した、

奇跡の名将といえるかもしれない。

播州の御着城主・小寺家の家老に過ぎない官兵衛が、

一躍歴史の表舞台に登場したのは、

信長に拝謁した三十才の頃。

確かな知識と情報収集力で、いち早く信長支持を表明し、

天下布武の突破口を開いた八面六臂の活躍は、

貴石のような輝きを放っている。

本能寺の変で信長が斃れた後も、秀吉の天下取りを支え導いた。

天下取りを支えた最強の軍師という一面だけでなく、

同時に側室を持たず一人の女性を愛した愛妻家、

歌や茶会を愛する文化人、キリシタン大名であるなど、
豊かな人間性を兼ね備えている。

敵の武将までもが自ら進んで官兵衛の軍門に降るのも、
官兵衛の将としての器の大きさを物語っている。

官兵衛の軌跡をたどると、大きな歴史ロマンが見え隠れする。
九州・福岡こそ、そんな官兵衛の総決算にして集大成。

彼の想いを乗せて、福岡は始まった。



▲朱漆塗合子形兜・黒糸威胴丸具足・小具足付 (福岡市博物館所蔵 藤本健八撮影)

年代	内容
1546年〔1歳〕	播磨国姫路で誕生。
1567年〔22歳〕	家督を相続する。
1568年〔23歳〕	長男 松寿丸(黒田長政)誕生。
1569年〔24歳〕	青山・土器山の戦いで十倍差とも言われる兵力差の大軍に勝利し、名を轟かせる。
1575年〔30歳〕	織田信長に拝謁、「へし切長谷部」(福岡市博物館所蔵)を与えられる。秀吉に仕える。
1578年〔33歳〕	主君信長への謀反の噂のある荒木村重の説得に単身乗り込むが捕まり、約一年間幽閉される。
1581年〔36歳〕	兵糧攻めで鳥取城を攻略。
1582年〔37歳〕	高松城攻めで水攻めを提案し、軍師として活躍。
1583年〔38歳〕	高松城攻略の際、本能寺の変を聞き、中国大返しを成功させる。
1586年〔41歳〕	キリスト教の洗礼を受け、洗礼名をドン・シメオンとする。
1587年〔42歳〕	九州平定のため、豊前国へ入国。
	秀吉から、豊前六郡を与えられ、馬ヶ岳城(行橋市、みやこ町)に入る。
	太閤町割にて博多の町の復興に関わる。
1588年〔43歳〕	中津城(大分県中津市)へ移る。
1589年〔44歳〕	家督を長政に譲る。
1590年〔45歳〕	小田原征伐に参加、講和による使者として活躍。
1591年〔46歳〕	秀吉の命により、名護屋城(佐賀県唐津市)の縄張を行う。
1593年〔48歳〕	如水円清と号する。
1600年〔55歳〕	石垣原(大分県別府市)の戦いで勝利。小倉城を攻略し、久留米城、柳河城を開城。
1601年〔56歳〕	(関ヶ原の戦い)子の長政に筑前五十二万石を与えられる。(福岡(福岡市)の地を福岡と改称し、福岡城の築城を始める。完成までは、太宰府天満宮(太宰府市)の庵で隠居生活を送る。死去。崇福寺(福岡市)に葬られる。
1604年〔59歳〕	



▲黒田如水像(福岡市博物館所蔵)

▲へし切長谷部(国宝 福岡市博物館所蔵 要史康撮影)

福岡を創った 官兵衛

秀吉に博多復興を命じられた官兵衛が、まず最初に着手したのが太閤町割といわれています。道を整備し、住む者すべてが安心して暮らせる町づくりを官兵衛は目指しました。戦禍を避けて散り散りになった住民たちが、なつかしい博多の町に帰ってきたのは、官兵衛と黒田家家臣団の功績に負うことが大きかったのではないのでしょうか。九州平定後に与えられた豊前においても、地理を生かした町づくりを進めています。

関ヶ原の合戦後、嫡男・長政とともに入国した筑前52万石では、官兵衛の集大成ともいえる国づくり・町づくりが行われました。かつて、外国人の迎賓館として大きな役割を果たした同じ場所に町人と武士が共存共栄しあう伸びやかな自由闊達な文化が生まれ、わが国のおもてなしの原点ともいえる福岡の魅力は、現在・未来へとつながっていくのです。

- (小倉から)1587年・秀吉九州平定での官兵衛行軍ルート
- (中津から)1600年・九州の関ヶ原での官兵衛行軍ルート
- 城・城跡



- 6 小倉城(こくらじょう)**
北九州市小倉北区城内2-1
JR小倉駅より徒歩15分
天守の外観は最上階が下の階よりも大きい唐造り。官兵衛は、関ヶ原の影で暗躍し、敵の手にあった小倉城を攻め落とした。
- 7 いのちのたび博物館**
北九州市八幡東区東田2-4-1
JRスペースワールド駅より徒歩約5分
平成25年3月にリニューアルした、西日本最大級の自然史・歴史博物館。黒田二十四騎の一人、井上之房の甲冑が展示されている。
- 8 松山城跡(まつやまじょうあと)**
京都府羽田町松山
西鉄バス「南産」より徒歩15分
小早川隆景が「国中見渡し堅固の在所の第一」と評した、周防灘に面した半島状の山城。官兵衛由来とされる郭や瓦が残っている。
- 9 馬ヶ岳城跡(うまがたけじょうあと)**
行橋市大字大谷・みやこ町厚川花熊
平成筑豊鉄道「厚津駅」から大谷登山口まで約2.5km
官兵衛が中津城に移るまでの間、居城とした山城。豊前地域の要所で、秀吉もここに宿泊した記録が残る。
- 10 城井ノ上城址(さいのこうじょうし)**
築上郡築上町寒田
JR日豊本線「築上駅」から徒歩約40分
宇都宮氏と黒田家との激戦が繰り広げられた城。自然の巨岩の表門と裏門があり、周囲を岩壁に囲まれた天然の要害。
- 11 天徳寺(てんとくじ)**
築上郡築上町本庄361
JR築上駅より徒歩約35分
鎌倉時代から戦国時代にかけて豊前国を治めた、官兵衛の宿敵、宇都宮氏の菩提寺。
- 12 求菩提資料館(くはてしりょうかん)**
豊前市鳥井畑247
JR宇鳥駅より徒歩約35分
山岳信仰の歴史を辿る資料館。求菩提山で桜狩りを楽しんだ官兵衛や従者が読んだ歌も残されている。
- 13 麻生大浦荘(あそうおおうらそう)**
飯塚市立岩1060
JR新飯塚駅より徒歩約10分
「筑豊御三家」のひとつに数えられた麻生家の別邸。官兵衛が通った笠松峠が邸内にある。
- 14 麟翁寺(りんのおうじ)**
嘉麻市大隈町1023
JR桂川駅より徒歩約20分
元和年間の創建と伝えられる古寺。寺内には黒田節の主人公、母里太兵衛の墓がある。
- 15 益富城跡(ますとみじょうあと)**
高崎市248
JR桂川駅より徒歩約25分
筑前六端城の一つに数えられ、後藤又兵衛や母里太兵衛が城主となった山城。秀吉にまつわる一夜城伝説が残り、10月下旬には一夜城まつりが行われる。
- 16 長崎街道内野宿(ながさきかいどう)**
飯塚市内野3273
JR筑前内野駅より徒歩約5分
長政の命により母里太兵衛と内野太郎左衛門が建設した、長崎街道の宿場町「内野宿」。今でも宿場の面影が残っている。
- 17 秋月城下町(あきづきじょうかまち)**
朝倉市秋月野鳥
甘木ICより徒歩約20分
長政の三男長興が秋月藩主となり、町割りを行った城下町。筑前の小京都として栄え、今も当時の歴史的な町並みをとどめている。
- 18 太宰府天満宮(だざいふてんまんぐう)**
太宰府市宰府4-7-1
西鉄太宰府駅より徒歩5分
菅原道真公を祀る「学問・至誠・厄除けの神様」として有名な神社。官兵衛は晩年の一時期をこの境内で過ごしており、その当時使用していたといわれる「如水の井戸」が今も残っている。
- 19 桜井神社(さくらいじんじや)**
糸島市志摩桜井4227
JR波多江駅より徒歩約25分
黒田二代藩主忠之によって創建され、筑前国の信仰の拠点であった神社。社領の二見ヶ浦から見る夕日は絶景。

1 福岡城(ふくおかじょう)
福岡市中央区城内
福岡市地下鉄赤坂駅2番出口より徒歩8分
長政が、慶長6年(1601)から7年がかりで築城。平山城で、大中小の各天守台と47の櫓があった。官兵衛が晩年を過ごした御高(鷹)屋敷もある。

2 崇福寺(そうふくじ)・黒田家墓所(くろだけぼしよ)
福岡市博多区千代4-7-79
福岡市地下鉄千代原駅より徒歩5分
慶長5年(1600)、長政により現在地に転移され、黒田家の菩提寺として庇護を受けた。山門は、福岡城の表御門を移築したもの。境内には、官兵衛・長政など歴代藩主などを祀る黒田家墓所がある。

3 光雲神社(てるもじんじや)
福岡市中央区西公園13-1
西鉄バス「西公園」から徒歩5分
官兵衛と長政親子を祀る神社。元々は福岡城内本丸九守台の下に作られた神社だが、後に、西公園山頂へと移った。

4 福岡市博物館(ふくおかしはくぶつかん)
福岡市早良区百道浜3-1-1
福岡市地下鉄 西新駅より徒歩15分
平成25年11月3日に常設展示をリニューアル。国宝「金印」をはじめ、名槍「日本号」や官兵衛ゆかりの逸品など、黒田家ゆかりの品々を展示している。

5 筥崎宮(はこぎきぐう)
福岡市東区箱崎1-22-1
福岡市地下鉄 箱崎宮前駅より徒歩3分
日本三大八幡宮。ここで秀吉は、九州攻めの論功行賞を行った。官兵衛には豊前国の三分の二を与えることされた。

隣県の官兵衛ゆかりの城

- 中津城(なかつじょう)**
大分県中津市二ノ丁本丸
秀吉より豊前六郡を拝領した官兵衛が山国川(当時高瀬川)河口の地に築城したのが始まり。城郭の形が扇の形をしていたことから「扇城」とも呼ばれていた。
- 名護屋城跡(なごやじょうあと)**
佐賀県唐津市鎮西町名護屋
秀吉の朝鮮出兵に際して拠点として築かれた城。あとには、名護屋城博物館がある。

福岡はここから始まった 官兵衛の足跡



官兵衛が秀吉の軍師として仕えていた戦国期後半、九州は大友宗麟・龍造寺隆信・島津義久という3名の戦国大名による戦いが繰り返られていました。天正6年(1578年)耳川の戦いで大友軍を破り、同12年(1584年)沖田原の戦いで龍造寺軍に勝った島津義久は、九州で最も有力な戦国大名となり、九州統一を目指しました。

危機感をもった大友宗麟は、秀吉に助けを求めました。島津氏の勢力拡大を好ましくないと思わなかった秀吉は、関白として、島津・大友の両氏に停戦命令を出しました。しかし、島津氏はこれに従わなかったため、これを口実に秀吉は九州平定に動きまわります。秀吉の軍師・黒田官兵衛の九州とのかかわりは、ここから始まります。

秀吉の九州平定と官兵衛の九州入り

官兵衛は秀吉の九州平定の軍監として、天正14年(一五八六年)、兵四〇〇〇を率いて海を渡り、毛利・吉川・小早川軍とともに小倉城(地図⑥)に攻め込みました。これが官兵衛にとって福岡での最初の足跡となります。

小倉城攻略後に陣をおいた松山城(地図⑦)では、豊前の諸将が降伏しましたが、島津方の賀来氏が守る宇留津城(築上郡築上町宇留津)は降伏しなかったため激戦の末、攻略しました。12月には主な豊前の城を支配下におき、豊後(大分県)、日向(宮崎県)へと転戦します。

九州平定が一段落した天正15年6月、秀吉は戦乱で荒廃した博多(福岡市)の町に立ち寄り、「太閤町割」といわれる復興プランの策定を官兵衛に命じました。家臣の久野四兵衛が実務を担当し、出来上がった町割の姿は現在の博多区(福岡市博多区)に引き継がれています。

豊前入国

秀吉は九州平定の論功行賞を筑前博多の宮崎(地図⑧)及び小倉城で行いました。このとき官兵衛は豊前六郡(現在の福岡県東部・大分県北部)12万石を与えられることになりました。

官兵衛はただちに九州最初の居城・馬ヶ岳城(地図⑨)に入城し、秀吉の命により新しい所領の検地を行います。ところが、秀吉が行った領地配分や検地に不満をもつ豊前の豪族が各地で蜂起します。特に豊前城井城(地図⑩)の城主・宇都宮鎮房は、四〇〇年近く治めていた城井谷から伊予(愛媛県)への転封を秀吉に命じられたことに強い不満をもち、官兵衛から城井谷を奪還しました。以後、官兵衛・長政と宇都宮一族との攻防のドラマが城井谷を軸に繰り返されます。

天然の要害を備えた宇都宮氏の居城は難攻不落でしたが、天正16年(一五八八年)、宇都宮鎮房は降伏し、領内の一揆は沈静化します。翌年、長政は中津城を訪れた宇都宮鎮房を謀殺し、一族も長政が派遣した軍勢により攻め滅ぼされます。鎮房の

筑前入国

ところが、官兵衛譲りの才覚を持つ長政の活躍により関ヶ原の決戦は一日で終わります。関ヶ原の決戦により大勢が決まった後、官兵衛は天下取りの野望をあっさり捨て、関ヶ原の論功行賞として長政が得た筑前52万石の地に移ります。

九州の関ヶ原

慶長5年(一六〇〇年)、徳川家康と石田三成の間で天下分け目の関ヶ原合戦が開かれます。官兵衛は、天下取りの最後の賭けに出ます。

子・長政が家康側の東軍に参加したため、中津城を守る官兵衛は今まで蓄財した金員をはたいて浪人九〇〇〇人を集め、九州内の西軍側大名の城を攻略し、所領拡大を図ります。九州の関ヶ原といわれるこれらの戦いでは、大友義統軍を破った石垣原の戦い(大分県別府市)が有名ですが、福岡県内でも毛利定房が守る香春岳城(田川郡香春町)、毛利吉成の小倉城(地図⑥)、毛利秀包の久留米城(久留米市)、立花宗茂の柳河城(柳川市)など次々に開城させました。中でも東軍側の武将・加藤清正との水田会談を通じて、籠城戦の構えを見せていた立花宗茂を説得し、戦を回避できたのは官兵衛の武將としての器によるところが大きいといえるでしょう。

慶長5年(一六〇〇年)12月、官兵衛・長政は飯塚山太養院(飯塚市本町)を経て名島城(現・福岡市東区)に入りますが、この城は大きな城下町を形成するには適していませんでした。官兵衛は九州第一の商業都市・博多を取り込んだ城下町の形成を考え、福岡(福岡市中央区)を新しい城を作る場所に決め、その地名を黒田家発展の地・備前福岡村(岡山県瀬戸内市)にちなんで福岡と改称します。現在まで続く「福岡」という地名はここから始まります。

福岡城の居館「御鷹屋敷」が完成するまでの間、太宰府天満宮内(太宰府市)に庵を設けました。筑前国続風土記拾遺によれば、築城のための良材を求めて三郡山(飯塚市)に行き、たびたび西光寺(飯塚市馬敷)に宿泊したといわれています。

慶長8年(一六〇三年)、病氣療養のため有馬温泉に逗留しますが、翌9年3月20日、病状が悪化し、滞在先の伏見の藩邸で没しました。今は崇福寺の廟所に祭られ、毎年3月20日に法要が営まれています。

黒田家と二十四騎

筆頭家老 栗山備後守利安

官兵衛が小寺姓を名乗っていたときから仕え、官兵衛と苦楽をともにした側近中の側近。数々の武功に加えて、荒木村重により有岡城に幽閉された官兵衛の救出、石田三成側に連れ去られそうになった官兵衛・長政の両夫人の大阪屋敷脱出など、黒田家の危機を何度も救ったことで有名な家臣です。筑前入国後は、一万五千石を与えられ、国境に設けられた筑前六端城の一つ・左右良城（朝倉市）の城代となりました。官兵衛の信頼は厚く、その臨終に際して合子の兜と唐革包の鎧を拝領し、長政の治世を助けるように託されています。



▲栗山利安

黒崎城主 井上周防守之房

官兵衛の父職隆の代から黒田家に仕え、職隆・官兵衛・長政・忠之の4代に仕えた古参の重臣。有岡城に幽閉されていた官兵衛を栗山利安、母里太兵衛とともに変装し見舞い、九州の関ヶ原といわれる石垣原の戦いでは、



▲井上之房

利安は、官兵衛の菩提を申うために円清寺（朝倉市杷木志波）を建立しました。寺の名前は、官兵衛の法号「竜光院殿如水円清」から命名しており、官兵衛を慕う利安の気持ちが見えています。寺には、官兵衛、長政、利安3名の肖像画、建立時に長政から寄進された銅鐘（国指定重要文化財）が残っています。官兵衛の肖像画の中には、官兵衛がキリスト教徒であったことを伺わせる記述を削除した跡があり、江戸幕府の禁教令の影響が伺われます。官兵衛から託された合子の兜は、利安の子・大膳が黒田騒動を理由に奥州盛岡に流されたため、現在、岩手県のもりおか歴史文化館に保管されています。一六三二年、利安は82歳で没し、自ら建てた円清寺が菩提寺となっています。

大友義統軍の参謀、吉弘統幸を一騎打ちの槍あわせで討ち取るなど戦功は著しかったといわれています。筑前入国後は、一万六千石を与えられ、豊前細川藩との国境を守るため六端城の一つ黒崎城（北九州市八幡西区）の城代となりました。栗山利安と同様、官兵衛を慕う気持ちは強く、菩提寺である龍昌寺（遠賀郡岡垣町高倉）に之房は官兵衛を描いた掛け軸を寄進しています。また、黒崎城下の春日神社（北九州市八幡西区）には福岡藩が江戸末期に奉納した絹本着色黒田二十四騎画像が残っています。これは、之房が春日大明神（現在の春日神社）に黒田長政の霊をまつり、黒田大明神として毎年祭礼を行ったことに由来します。宿場町として栄えた黒崎では、毎年10月「筑前黒崎宿場祭り」が開催され、甲冑姿の二十四騎の武者行列や演舞を楽しむことができます。

孤高の武将 後藤又兵衛基次

母里太兵衛と並ぶ黒田家中随一の豪傑で、別名「槍の又兵衛」と呼ばれています。幼少時から官兵衛に育てられ、長政とは兄弟のような関係で育ちました。官兵衛が有岡城に幽閉されたとき、又兵衛の親族が幽閉の謀略に関与していたため一時、黒田家を離れますが、長政が呼び戻し、栗山利安の与力となります。朝鮮出兵（文禄・慶長の役）や関ヶ原合戦で活躍し、朝鮮出兵のときには、母里太兵衛や黒田一成とともに先陣を務め、関ヶ原の戦いでは、石田三成の家臣で槍の名人・大橋掃部を一騎打ちで破りました。筑前入国後は、一万六千石を与えられ、六



▲後藤又兵衛

黒田節の主人公 母里太兵衛友信

生涯であげた首は76級。黒田二十四騎の中でもトップの槍使いの豪傑。豊臣家臣の福島正則から「大杯に注がれた酒を飲み干したら望みの品をやる」といわれ、名槍「日本号」を飲み取った逸話をもとにできた民謡が「黒田節」です。豪放磊落な黒田武士を象徴するエピソードですが、太兵衛の豪放さを憂慮した官兵衛は、太兵衛より年長で分別がある栗山利安と義兄弟の契りを結ばせ、その指示に従わせました。栗山利安とともに、有岡城に幽閉されていた官兵衛の救出、官兵衛・長政の両夫人の



▲母里太兵衛

大阪脱出をやりとげ、豊前宇留津城攻めでは一番乗り戦功を挙げました。筑前入国後は、一万八千石を与えられ、六端城の一つ鷹取城（直方市永満寺・頓野、福智町上野）の城代となります。後藤又兵衛の後の益富城の城代になります。一六一五年に亡くなり、法名は「麟翁紹仁」、墓所は麟翁寺（嘉麻市大隈）に設けられています。寺の山門は益富城の搦手門を移築したもので、名槍「日本号」は福岡市博物館に展示されています。また、母里太兵衛をモデルにした黒田武士の像が、JR博多駅前や西公園（福岡市）に設置されています。後藤又兵衛、母里太兵衛の2名の豪傑が城主をつとめた益富城は現在、益富城自然公園となっており、秀吉の九州平定に際して一夜城が築かれたエピソードをもとに毎年10月「一夜城祭り」が開催されています。



鷹取城跡



円清寺



益富城跡

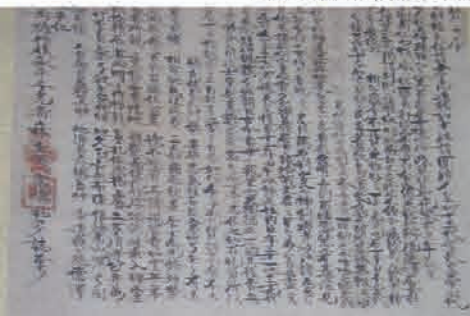
黒田52万石といわれる福岡藩の礎を築いた官兵衛と長政。播磨の御着城主小寺氏に仕える家老職だった黒田家が、52万石をもつ日本有数の大名になるまでには、有岡城での幽閉、山崎の戦い、朝鮮出兵、関ヶ原の戦い、石垣原の戦いなど様々な難局を知略と武勇で乗り越えなければなりません。下克上の乱世で難局打破ができたのは、官兵衛・長政の類稀なる武将としての才覚に加えて、二人の主君と強い絆で結ばれた精鋭黒田家臣団の存在があったからです。黒田家臣団の中で24名の精鋭を選んで「黒田二十四騎」と言われていますが、そのうち、栗山備後守利安、井上周防守之房、後藤又兵衛基次、母里太兵衛友信の4名の武将について福岡での軌跡を紹介します。

※博多人形の黒田二十四騎は、FFG本社ビル（福岡市中央区大手門）に展示されています。

▼黒田二十四騎図（福岡市博物館所蔵）



▼黒田如水画像（円清寺所蔵）



今でも福岡に残る

官兵衛・長政の息遣い

築城の名手は
効率も重視

官兵衛は築城の名手として、大阪城、中津城、福岡城など様々な城の縄張り(城の門、堀、虎口、曲輪などの配置を指す)を行いました。居城となった中津城や福岡城の築城に際しては、その立地を海や川を要害及び交通の面から巧みに利用したほか、中津城では、古代の山城・唐原山城(築上郡上毛町下唐原)の石垣の転用、福岡城では、名島城の建物や石垣の移築により、時間と費用を節約したといわれています。

現在、福岡城では、当時の情景をCG画像で再現するタブレット端末を手に、ガイドの案内のもと史跡内を散歩する「鴻臚館・福岡城 パーチャル時空散歩」ガイドツアーが実施されており、天守閣の謎に迫ることが出来ます。

文化人としての官兵衛

軍師として活躍した官兵衛は幼いころから和歌に親しみ、千利休や博多の豪商神屋宗湛との交流を通じて茶の湯を楽しむ文化人でもありました。

福岡城築城での資材を求めて三郡山に足を運んだ官兵衛は、西光寺(飯塚市)に度々宿泊したといわれています。この寺には、官兵衛直筆の「如水田清」の法号位牌、黒田家が徳川家から拝領した火鉢などが残っています。戦乱で荒廃した太宰府天満宮の復興に尽力した官兵衛・長政は、社領・千石、太鼓橋、石灯籠などを寄進しており、今でも灯籠は残っています。このような官兵衛の支援に対して、官兵衛(如水)を祭った如水社が境内に建てられています。領民を思う官兵衛の息遣いが垣間見えるといえるでしょう。

黒田藩と高取焼

筑前黒田藩の御用窯であった高取焼は、慶長五(一六〇〇)年、鷹取山の麓の永満寺(直方市永満寺)に築かれた永満寺窯にはじまります。この窯を築いたのが、高取焼始祖、八山です。その後、内ヶ磯(直方市)、山田(嘉麻市)、白旗山(飯塚市)、小石原(東峰村)、西新(福岡市)と福岡藩内を移転します。白旗山窯のとき、八山は一流の茶人・小堀遠州の指導を受け、遠州七窯の一つに数えられ、「綺麗さび」の茶陶としての地位を確立します。現在、東峰村にある高取八山直系の高取焼宗家の窯元を含め、福岡市、直方市などの窯元で高取焼は作られており、福岡の名産品となっています。



黒田長政
黒田官兵衛の嫡男。関ヶ原の戦いで活躍が認められ、筑前国52万石を与えられる。



長崎街道 冷水峠



高取焼



如水の井戸



「鴻臚館・福岡城 パーチャル時空散歩」ガイドツアー



乾衣祭



唐原山城跡

寺社への寄進

豊前時代は、求菩提山で桜狩(桜の花見)を家臣とともに楽しんだといわれ、その際に従者とともに歌った和歌が現在、求菩提資料館(地図⑫)に残っています。また、菅原道真公を敬愛する官兵衛は筑前入国後、福岡城内の居館が出来るまで太宰府天満宮(地図⑩)に仮住まいし、和歌・連歌の会や茶会を楽しんでいます。現在も太宰府天満宮には官兵衛が奉納した夢想之連歌や境内に仮住まい時に使っていた「如水の井戸」が残っています。

長崎街道による
筑前国の発展

江戸幕府の鎖国政策の中、海外との交易を唯一許された長崎・出島。この出島と江戸を繋ぐ九州内のルートが長崎街道でした。長政は、黒田節の有名な母里太兵衛に命じて難所である冷水峠を開闢し、筑前六宿といわれる、黒崎、木屋瀬(以上、北九州市八幡西区)、飯塚、内野(以上、飯塚市)、山家、原田(以上、筑紫野市)の6つの宿場を設け、藩内の長崎街道を整備しました。定期的に江戸へ行き来するオランダ商館長一行、長崎奉行、参勤交代に赴く九州諸大名、シールボルトなど様々な人や海外の文化、技術が整備された長崎街道を行き交い、宿場町は大変賑わったといわれています。海外から輸入された砂糖が長崎・出島を出発点に長崎街道を経由して全国に流通したことから長崎街道は別名「シユガロード」とも呼ばれ、菓子文化が発達しました。全国でも有名な福岡の銘菓は、長崎街道発祥のものも多く、歴史的な影響を受けています。江戸時代の石畳が残る冷水峠、江戸、明治期の建物が残る宿場町などを巡ると、往時の面影が垣間見えます。人馬が行き交い繁栄した長崎街道は、城下町・福岡を通過しないように作られています。戦乱で城下町が荒廃することを防ぐため、官兵衛が考案したともいわれています。

◎参考書籍
・黒田如水(小和田哲男著・ミネルヴァ書房)
・黒田如水(三浦明彦著・西日本新聞社)

官兵衛ゆかりの地のご当地グルメ
 ちよっと、ひといき
 福岡の人気グルメ



博多祇園山笠発祥のお寺としても知られる承天寺を開いた聖一国師は、遠く中国から製粉の技術を持ち帰り、粉物文化が全国に広まりました。「饅頭・蕎麦・饅頭」は福岡・博多が発祥の地です。福岡は大陸からたらされた食文化の宝庫。さらに長崎街道で運ばれた渡来品の中には砂糖があり、お菓子文化も根付きました。自然豊かな福岡は、新鮮な海の幸、山の幸も味わうことができます。官兵衛ゆかりの地で楽しめるお勧め人気ご当地グルメをご紹介します。



KURO SELECTION
 「炭坑のまち・筑豊産」のイメージを基に、「KURO」黒くをテーマとして、産地地域の人気洋和菓子店8店舗が創作した味もデザインもこだわり抜いた高級感あふれる大人スイーツ。



●直方市観光物産振興協会準備室
 TEL:0949-28-8135

筑豊スイーツ
 江戸時代、長崎から砂糖が輸入され、シュガーロードと言われていた長崎街道。筑豊エリアでは、炭鉱が栄える頃から有名な銘菓が誕生しており、スイーツのご当地として全国でも著名なエリア。

成金饅頭
 炭鉱景気に沸く直方で、豆の投機に失敗した男が、試しにその白花豆で饅頭を作った大ヒットしたのが、成金饅頭。直径20、30センチの特大大サイズが普通で、最近では食べやすい小さなサイズも人気。

直方市
 飯塚市
 嘉麻市



●北九州市観光情報コーナー TEL:093-541-4189

焼うどん
 終戦直後の昭和20年ごろ、小倉の食堂街で生まれた焼うどん。焼そば用のそば玉が手に入らないので、干しうどんを湯がいて焼いて出したところ、大好評だったことが始まりとされている。

北九州市



●行橋市観光協会
 TEL:0930-25-0086

いちじく
 いちじくが名産の行橋市で作られている「蓬萊柿」とよみつひめ。蓬萊柿は、中国から三七〇年ほど前に伝わった品種で、適度な甘みとほのかな酸味で、上品な味わい。とよみつひめは、福岡生まれの新品種。色鮮やかでなめらかな食感の果肉で糖度16、17度と甘みが強く、その上品な甘さは後を引く美味しさ。旬は8月中旬頃から。

行橋市



●糸島市観光協会 TEL:092-322-2098

そうめんちり
 お盆にそうめんを贈るとい習慣がある糸島の郷土料理。地鶏と野菜、豆腐などを甘辛く煮て食べる直前にそうめんを入れて食べる。疲れた体を温め癒してくれる、糸島を代表するソウルフード。

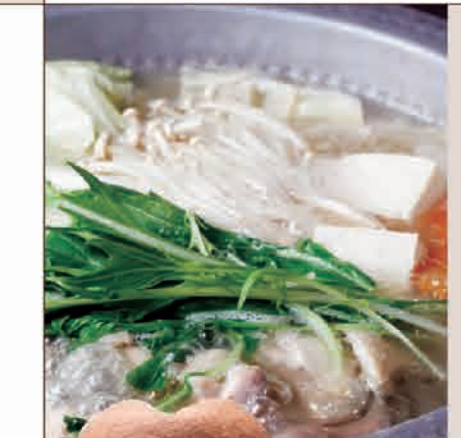
糸島市



●飯塚観光協会 TEL:0948-22-3511

ほるホル丼
 飯塚で繁栄した石炭発掘作業をイメージし、「石炭を掘る」「ホルモンを掘る」をコンセプトに丼の底に黒米、真ん中に白米を盛った中心に煮込みホルモンを詰め込んだ丼料理で、ご飯を掘れば掘るほど、ホルモンが楽しめる飯塚ご当地グルメ。

飯塚市



水炊き・鶏料理
 およそ百年の歴史をもつ福岡の代表的な郷土料理。骨付きの鶏肉でじっくりダシをとったスープで食べる鍋。

福岡市



●太宰府観光協会 TEL:092-925-1899

梅ヶ枝餅
 無実の罪で京から大宰府に流され不遇の生活を強いられていた菅原道真公に、浄妙尼という老女が餅を梅の枝にさして献上したという由来がある。太宰府の定番グルメ。小豆あんが香ばしいお餅に包まれ、素朴な味わいが人気。毎月25日の「天神さまの日」には、よもぎ入りの梅ヶ枝餅が限定販売される。

太宰府市



もつ鍋
 ヘルシーな食材「もつ」とシラ、キャベツ、鷹の爪を加えて煮込む鍋。締めはチャンポン麺が定番。

福岡市



●豊前海区かき養殖研究会 TEL:093-434-1715

豊前海一粒かき
 豊前海で養殖され、殻付きのまま販売されることから「一粒かき」の名称がつけられた福岡のブランド牡蠣。栄養分の多い海で育った牡蠣は、粒が大きく、口に入れた時のトロリとした喉ごしがたまらない。

福岡市
 糟屋町



●上毛乃台所聖林(道の駅しんよしとみ内)
 TEL:0979-72-2850

ころげ愛
 上毛町の老舗の唐揚げ店が地元食材にこだわって作った唐揚げバーガー。地元「村のばん屋・S.A.N」が丁寧に作ったふっくらモチモチの米粉100%パンを使っている。地元の方々がたくさんの愛を込めて作った地元食材がぎゅっと詰まったご当地グルメの逸品。

上毛町



●道の駅うすい TEL:0948-62-4400

嘉麻の釜めしの素
 嘉麻市観光文化大使のおすぎさんと原田らぶ子さんが考案し、地元有志と食品会社が1年間試行錯誤して開発。西日本地区金賞受賞の地元名産「嘉穂牛」に、ごぼう、ごんなん等を加えてすき焼き風に味付けし、地元特産品リンゴの果汁を隠し味に使っている。一口食べれば納得の味。

嘉麻市



●嘉麻市観光まちづくり協議会 TEL:0948-57-3154
 ●(株)トモス TEL:0948-52-0584

酒ゼリー
黒寒梅
 黒田節の主人公・母里太兵衛ゆかりの地・嘉麻市の日本酒蔵元3社と洋菓子メーカーが共同開発した「酒ゼリー」黒寒梅。無色透明のゼリーにはほんのりとした日本酒の香りが漂い、一口食べると絶妙な甘みでやみつきになる。

嘉麻市

博多ラーメン
 旨みたっぷりの白濁した豚骨スープに、コシのある細麺が特徴。麺だけおかわりできる「替え玉」も博多ラーメンならではの楽しみ。

福岡市



●よってこ四季庫 TEL:0930-42-3339

みやこ肉カレー
 自然豊かなみやこ町で育った猪と鹿、ジビエならではの引き締まった肉は超絶品。ビタミンB2が牛・豚の約3倍もある猪鹿肉のカレーは、単なるレトルトカレーの領域では収まらないほど魅力の詰まった商品。

みやこ町



●築上町物産館「メタセの杜」
 TEL:0930-52-3828

隊員食堂カレー
 全国の航空自衛隊員の間では美味しいうことで知られていた、築城基地「隊員食堂カレー」。築城基地給食小隊の調理長が試作を繰り返して、隊員食堂の味を見事に再現したレトルトカレー。

築上町



●道の駅「豊前おしかけ」
 TEL:0979-84-0554 <http://www.okoshikake.jp/>

豊前棚田ゆず
 冷涼で清らかな川の流れる山間部で作られた香り豊かなゆずは、特産品も数多く、特に料理等に使用する「ゆずペースト」は九州・沖縄「道の駅」連絡会推奨商品となっている。

豊前市



●朝倉市観光協会 TEL:0946-24-6758

葛湯・くずきり
 黒田藩支藩・秋月藩の藩主へ献上したところ称賛賜り、幕府への献上品にもなった秋月本葛。天然の葛の根から良質のデンプンを取り出した純白の本葛は日本の伝統食品。

朝倉市

プラン1
官兵衛の集大成・福岡

九州の玄関・博多駅から、官兵衛が創った博多のまちを散策するコース。福岡市博物館に所蔵されている国宝「金印」や名槍「日本号」に代表される黒田家ゆかりの逸品は必見。



おすすめのグルメ 博多ラーメン、もつ鍋、玄界灘の海の幸

プラン2
黒田武士の心意気

筑前国の発展を考えた官兵衛が長政に整備を託した長崎街道。官兵衛と長政の想いを形にしたのは、黒田節の主人公母里太兵衛だった。そんな黒田武士の熱い想いをたどるコース。



おすすめのグルメ 筑豊スイーツ、嘉麻の釜めし
観光タクシーあり。詳しくは飯塚観光協会TEL0948-22-3511まで。

プラン3
文化人官兵衛と秋月藩

連歌や茶を楽しむ文化人官兵衛ゆかりの地・太宰府と、筑前の小京都といわれる秋月の城下町を堪能するコース。「ダブル美肌の湯」原鶴温泉で一泊して心身ともにリフレッシュ。



おすすめのグルメ 梅ヶ枝餅、葛湯、葛切り

史跡の詳細は、P3〜P4のマップページを御覧ください。

プラン4
官兵衛VS宇都宮一族

秀吉の九州平定の論功行賞として官兵衛が手に入れた豊前六郡を巡るコース。所領を奪われた官兵衛の宿敵・宇都宮一族との攻防が最大の見所。



おすすめのグルメ 豊前海一粒かき、小倉発祥焼うどん

プラン5
秀吉の朝鮮出兵と黒田家

秀吉が朝鮮出兵をした際に立ち寄った糸島地域。黒田家ゆかりの地とともに、豊かな自然の魅力あふれたスポットを楽しむコース。桜井二見ヶ浦から海沿いの県道は、通称「サンセットロード」と呼ばれ、海岸から見える夕陽が美しいドライブコースとしても人気。



おすすめのグルメ そうめんちり、糸島牡蠣

プラン6
官兵衛と水田会談

名将・立花宗茂の柳河城開城をめぐる官兵衛、加藤清正が会談した地・水田。その史実に思いをよせながら、情緒あふれる水郷柳川をゆっくり楽しむコース。



おすすめのグルメ 鰻の蒸籠蒸し